

人権教育研究テーマシート

担当（分掌、学年部、教科等）	実施時期
地歴・公民科	平成 28 年 7 月 14 日（木）の授業
テーマ	
基本的人権の尊重（1年生『現代社会』単元「日本国憲法・基本的人権の尊重」） 静岡県立大学4年生の土肥潤也氏（NPO法人「わかものまち静岡」代表） をゲストティーチャーに招いて、「主権者教育」の特別授業をしてもらった。	
「静岡県が目指す基本的な方向性」との対応 (対応する番号に を記載する。複数選択可) 参照：静岡県教育委員会「様々な人権問題と人権学習」	人権に対する正しい理解を深めること 人権感覚を高めること 自尊感情を育てること
内容	
講師が自己紹介後、主権者について説明した。子どもの権利条約の意見表明権についてふれ、 ドイツの学校会議（学校民主主義）についても紹介した。	
グループワークで始めに「あなたの学校の中での気になること（課題）は」について話し合う。 さらに「より良い学校をつくるために」のテーマで、課題を受けてその解決方法を様々な立場から 考え、話し合った。	
実施後振り返って	
・生徒の様子・感想・変化など 「どうやったらエアコンがつくのか」「自販機の台数が少ない、他社のももっとほしい」「どう やったら学校の設備が充実するのか」「どうやったら服装のチェックが変わらのか」「体育の授業 を減らしてほしい」など意見は多岐にわたって出た。「高校生にも人権を」といった声もあがり、 猛暑の中の授業だったが、話し合いは熱く盛り上がった。 事後の感想には「状況はすぐに変わらないと思う。けど、これだけ意見を言えてスッキリした」と いうものもあった。	
・実施した教員の感想・意見 「自分たちも主権者である」「社会や学校の状況は自分たちの手で変えられる」ということを実 感してほしかった。要求がすぐに実現するわけではないので、実感はまだ乏しいだろう。しかし、 土肥さんという大学生（若者）のリードで生徒たちが自ら考え意見を出し合う・集約するといっ た授業ができたことに意義を感じた。	